


性的指向の自認を  
「決めたくない・決めていない」人はみな性的マイノリティなのか？

「性的指向・性自認に関する設問の改善に向けた試験的調査」の  
クエア人口学的分析



釜野さおり  
国立社会保障・人口問題研究所  
人口動向研究部

平森大規  
Department of Sociology,  
University of Washington, USA

第93回日本社会学会大会「性・ジェンダー(1)」  
2020年10月31日(オンライン報告)

## 研究の背景(1):研究の必要性

目標:性的マイノリティの生活実態、ウェルビーイングを定量的に示したい

- 当事者対象のデータ:ある程度蓄積
- 未開部分:性的マイノリティ以外の人々と統計的に比較できるデータ

そのためには何が必要か？

- 性的指向・性自認のあり方(SOGI)の設問を含めた、一般人口対象の調査票調査

大きな課題:**SOGIを一般人口対象の調査票調査でどうたずねるか?**  
(昨年の当学会で報告済)

- 日本の先例がないため、設問を考案する必要;モデル設問の提示
  - 海外調査のレビュー、フォーカス・グループ・ディスカッション、メール調査での意見収集
- **開発した項目を用いた調査の実施(大阪市民調査):2019年1-2月**
  - 大阪市民調査の詳細: <http://osaka-chosa.jp/>

対象者:2018年10月1日時点の  
大阪市住民基本台帳から  
18-59歳15000人を無作為抽出

調査方法:郵送法(ウェブ回答  
併用)督促1回,謝礼なし

回収状況:有効回収数4285  
(28.6%),出生時男性1754,  
出生時女性2517人

## 研究の背景(2): SOGIをとらえる設問

性的指向の  
 自認(アイデン  
 ティティ)

問 46 次の中で、あなたにもっとも近いと思うものに○をつけてください。(○は1つ)

- 1 異性愛者、すなわちゲイ・レズビアン等ではない [異性のみに恋愛感情を抱く人]
- 2 ゲイ・レズビアン・同性愛者 [同性のみに恋愛感情を抱く人]
- 3 バイセクシュアル・両性愛者 [男女どちらにも恋愛感情を抱く人]
- 4 アセクシュアル・無性愛者 [誰に対しても恋愛感情を抱かない人]
- 5 決めたくない・決めていない
- 6 質問の意味がわからない

性自認の  
 あり方

問 44 あなたの性別に○をつけてください。[出生時の戸籍・出生届の性別](○は1つ)

- 1 男
- 2 女

※「出生時」とは、生まれたときにもっとも近い時点のことをさします。

問 45 あなたは今のご自分の性別を、出生時の性別(上で○をつけたもの)と同じだと  
 とらえていますか。左側で2や3に○をした方は、今の認識をお答えください。

(○はいくつでも)

- 1 出生時の性別と同じ
- 2 別の性別だととらえている
- 3 違和感がある

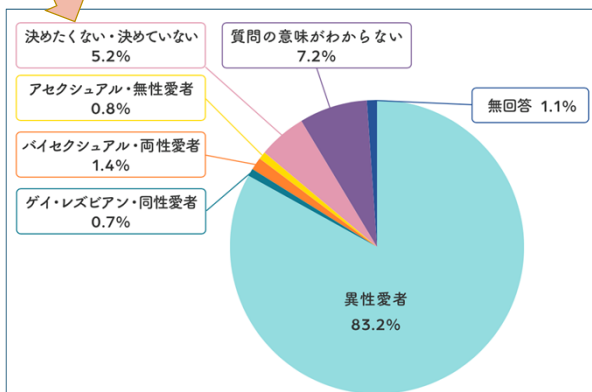
今の認識にもっとも近い性別(○は1つ)

- 1 男
  - 2 女
  - 3 その他
- [具体的に:]

3

## 研究の背景(3): SOGI別の人口割合(大阪市民調査の結果)

〈性的指向の自認(アイデンティティ)〉



〈性自認のあり方〉

出生時の性別が「男性」の回答

	男	女	その他	無回答	合計
今の認識に近い性別	1	6	6	0	13

● トランスジェンダー

回答者数 1,754人

出生時の性別が「女性」の回答

	男	女	その他	無回答	合計
今の認識に近い性別	4	2	16	1	23

● トランスジェンダー

回答者数 2,517人

4

## 1 本研究の目的:

### 「決めたくない・決めていない」の回答を探る

性的指向 「決めたくない・決めていない」

- 大阪市民調査での選択割合は 5.2%
  - 同性愛者、両性愛者、無性愛者より多い割合
  - 「決めたくない・決めていない」に目を向けることの社会的重要性

選択肢導入の意図

- 自分の性的指向について迷っている、決めようとしている、まだ決めたくないなど、マイノリティ的な意識をとらえるもの
  - Questioning 的・Queer的なものを想定していた
  - 調査結果をみた人たちからの反応:性的マイノリティに含めるべきだ

セクシュアリティ人口学における「異性愛者問題」

- 異性愛者の性的指向に関する自認の持ち方
  - ×「私は異性愛者」○「私は普通の人」「私は性的指向ない」「考えたことがない」

### ★リサーチクエスチョン★

- 「決めたくない・決めていない」選択者のすべてをQ、つまり性的マイノリティとみなしてもいいか?
  - 「決めたくない・決めていない」と回答する理由を調べるべく、試験的調査を実施(2020年3月)

5

## 2 先行研究(1)

### 人口学×クィア理論=クィア人口学という分析視点

- 人口学:人口の規模とその分布構成(年齢、性別、民族、居住地域、教育達成など)および、人口構造を変化させる出生、移動、死亡などの過程を記述し、またそれらの変化がもたらす影響について広く研究する学問
  - 人口学的アプローチ(本質主義的)
    - 人口調査においていかに性的マイノリティとマジョリティを明確に区別し、SOGI別人口割合を厳密に推定するか
- クィア理論:「性に関する何らかの現象を、差異に基づく連帯・否定的な価値の転倒・アイデンティティへの疑義といった視座に基づいて分析・考察する学問」(森山 2017: 128)
  - クィア理論的アプローチ(構築主義的)
    - 性的マイノリティとマジョリティはそれほど明確に分けられるものではない
    - SOGIの数量化は、性的マイノリティを測り、数え、監視することが可能な安定的、固定的、永久的な人口集団として規範化(“homonormalize”)することにつながる可能性
- クィア人口学:社会における異性愛・シスジェンダー規範を問題化すべく SOGI別人口割合の推定や人口学的特徴の分析を行いつつ、同時に、その把握過程におけるSOGIカテゴリーの非規範的・流動的な瞬間を記述し、ある人口が集団として構築される過程を批判的に研究する学問
  - 「決めたくない・決めていない」に目を向けることの学術的重要性

6

## 2 先行研究(2)

### 調査票調査における性的指向の自認(アイデンティティ)の設問

- 一般人口対象の調査用の設問: 試験的調査の積み重ね
  - 米国(Federal Committee on Statistical Methodology 2018)、イギリス(Office for National Statistics 2018)、カナダ(Dharma 2016)、ニュージーランド(Pega, et al. 2010)など
- 「その他」や「わからない」の扱いの検討
  - National Survey of Family Growth (NSFG) (米国): 「その他の何か」(“Something else”)の選択者に具体的に記入を依頼
    - 既存の選択肢に振り分け可能
    - 選択肢を改善し「その他の何か」を削除(Chandra, et al. 2011)
  - National Health Interview Survey (NHIS) (米国)の設問検討:
    - NSFGの設問の選択肢をどのように理解したかの質的調査
    - 自分の性的指向を決めていない・迷っている、提示された選択肢以外の性的指向を持っている、他の選択肢に振り分けられることができる、用語の意味がわからないなど、さまざまな理由で、「その他の何か」(Something else)や「わからない」(Don't know)が選択
    - →追加の問いを設けて詳細をたずねる提案(Miller and Ryan 2011)

7

## 3 方法(1)

### 試験的調査の概要

- データ収集方法: インターネット調査(モニタ型ウェブ調査)
- 調査実施期間: 2020年3月23日~30日
- 対象: 上記会社にモニタ登録している全国の18~59歳
- 事前スクリーニング(調査会社)
  - 本調査の回答者を性別と年齢階級別で均等に割付
    - 目標サンプル1400--性別(男・女の2区分)、年齢階級(18-29歳、30-39歳、40-49歳、50-59歳の4区分)の8区分×180サンプル(50-59歳は160)
  - 「決めたくない・決めていない」と回答する人を一定数確保
    - 各区分の15%(合計210サンプル)を占めることを目指した
  - 「ふまじめな回答」をする可能性のある人を除外する仕掛け
    - 調査の説明を読んだ上で調査参加に同意するという確認回答を求める
    - 1回目で正しく回答、または注意喚起後2回目で正しく回答した人を対象(三浦2019)
- 本調査: セルフアンケートシステム利用・研究チームで設定
  - 「決めたくない・決めていない」選択者への追加質問は、先行研究を参考に作成

8

### 3 方法(2)

#### 性的指向にかんする設問

1. 性的指向の自認をたずねる問い(大阪市民調査と同じ)
2. 「決めたくない・決めていない」の選択者に追加質問

	前問で「決めたくない・決めていない」を選んだ理由として、もっとも近いものを1つ選んで印をつけてください
1.	自分は異性愛者ではなく、クィア、パンセクシュアルなど、別のアイデンティティをもっている
2.	自分は、トランスジェンダー、性別違和、性同一性障害にあてはまる
3.	まだ決めていない、今決めようとしている最中、迷っている
4.	前問で、1つの選択肢を選べなかったため(あてはまるものが2つ以上あった)
5.	自分に「異性愛者」、「同性愛者」、「両性愛者」、「無性愛者」といったラベルをつけていない・つけたくない、分類しない・したくない
6.	前の問いで使われていた用語がわからなかった
7.	質問の意味がわからなかった
8.	間違っ「決めたくない・決めていない」の選択肢を選んでしまった
9.	その他(具体的に: ) ※あてはまる選択肢が2つ以上ある方も、この欄にそれらの番号を入力してください。 記入されない場合「前問で「決めたくない・決めていない」を選んだ理由をご記入ください。」と表示

### 4 結果(1)

#### 事前スクリーニング調査

- 事前スクリーニング調査の開始数 7263
- 年齢条件を満たした完了数 7139
- 「ふまじめな回答者」除外の2段階プロセス通過 5005
- 本調査の回答開始数 2814

#### 無効回答 合計 420

- 最後まで回答されていない
- 回答された年齢が対象範囲外
- 選択肢「その他」の記述欄に無関係な内容が記入
- トラップ設問への不正回答
- 重複回答が疑われた場合の2回目以降の回答

→有効回答 2394

## 4 結果(2) 有効回答者における性的指向の自認(アイデンティティ)

### 1. 性的指向の自認(アイデンティティ)

	n	%
決めたくない・決めていない	159	6.6
決めたくない・決めていない以外		
異性愛者、すなわちゲイ・レズビアン等でない [異性のみに性愛感情を抱く人]	2014	84.1
質問の意味がわからない	90	3.8
バイセクシュアル・両性愛者 [男女どちらにも性愛感情を抱く人]	62	2.6
アセクシュアル・無性愛者 [誰に対しても性愛感情を抱かない人]	49	2.0
ゲイ・レズビアン・同性愛者 [同性のみに性愛感情を抱く人]	20	0.8
全体	2394	100.0

「決めたくない・決めていない」の選択者が  
 全体の15%になるように設計したが  
 実際は有効回答者の6.6%にとどまる。

11

## 4 結果(3) 「決めたくない・決めていない」の選択理由 (n=159)

前問で「決めたくない・決めていない」を選んだ理由として、もっとも近いものを1つ選んで印をつけてください	n (%)
自分に「異性愛者」、「同性愛者」、「両性愛者」、「無性愛者」といったラベルをつけていない・つけたくない、分類しない・したくない	82 (51.6)
まだ決めていない、今決めようとしている最中、迷っている	22 (13.8)
前問で、1つの選択肢を選べなかったため(あてはまるものが2つ以上あった)	5 (3.1)
自分は異性愛者ではなく、クィア、パンセクシュアルなど、別のアイデンティティをもっている	3 (1.9)
その他(具体的に: 例) 性愛感情がとても少ない;よく分からない;現実あまり恋愛感情を持ってない;人を好きになったことがない;どちらに好意を抱くか、などは分からない	6 (3.8)
自分は、トランスジェンダー、性別違和、性同一性障害にあてはまる	0 (0.0)
間違えて「決めたくない・決めていない」の選択肢を選んでしまった	12 (7.5)
質問の意味がわからなかった	22 (13.8)* 異性愛者 5人3.1%* 質問の意味がわからない1人0.6%*
前の問いで使われていた用語がわからなかった	7 (4.4)* アセクシュアル・無性愛者1人0.6% 決めたくない・決めていない5人3.1%

異性愛者である可能性が高い回答: 合計22.0%

12

#### 4 結果(4)

##### もっとも多い理由:「ラベルをつけたくない」

- もっとも多い理由(82人、51.6%):
  - ・ 「自分に「異性愛者」、「同性愛者」、「両性愛者」、「無性愛者」といったラベルをつけていない・つけたくない、分類しない・したくない」
- これらの人のSOGIを別の角度から検討:性自認のあり方と性的指向にかかわるその他の指標の結果を集計
  - ・ トランスジェンダーである可能性は?
    - ・ 性自認が出生時と同じか否かで分類
  - ・ 性自認が出生時と同じ人については、性的指向の他の指標を検討
    - ・ 調査では、恋愛感情を抱く相手の性別、性的に惹かれる相手の性別、セックスをする相手の性別の3項目も、たずねた
    - ・ <恋愛感情を抱く>、<性的に惹かれる>、<セックスをする相手>のすべてがこれまで「異性のみ」の人と、どれか1つでも「異性のみ」に限定されない人に分けて集計

13

#### 4 結果(5)

##### 「ラベルをつけたくない」選択者(82人、51.6%)のSOGIの詳細

性自認が出生時性別と異なる

・ 9人  
・ (5.7%)

性自認が出生時性別と同じで、<恋愛感情を抱く相手>、<性的に惹かれる相手>、<セックスをする相手>が異性のみ限定されない

・ 22人  
・ (13.8%)

性自認が出生時性別と同じで、<恋愛感情を抱く相手>、<性的に惹かれる相手>、<セックスをする相手>のすべてが、これまで異性のみ

・ 51人  
・ (32.1%)

- 「異性のみ限定されない」とは、これまでについて、<恋愛感情を抱く>、<性的に惹かれる>、<セックスをする相手>の少なくとも1項目以上で、「ほとんど異性」、「男性と女性同じくらい」、「ほとんど同性」、「同性のみ」、「(該当する経験が)ない」のいずれかが選択された場合

14

## 5 まとめと考察(1)

- 「決めたくない・決めていない」が選択される背景はさまざまであることが明らかになった
- 一方で、「決めたくない・決めていない」選択者の一部(22.0~54.1%)に異性愛者が含まれている可能性が示唆された
  - 性的指向の自認を「決めたくない・決めていない」人をみな性的マイノリティと分類すると、性的マイノリティの人口割合を過大に推定してしまう
- 他方で、人々の性的指向のあり方は、必ずしも「異性愛者」、「同性愛者」、「両性愛者」といった形で厳格に分かれている・分けられるものではなく、複雑で多面的であることが定量的に示された
  - ただしこの結論は、調査票調査で個人々の性的指向を設問で把握し、性的指向別の分析を行うことを否定するものではない
- 「リアル」(現実)なものとして人々の生活に大きな影響を与えている「性的指向」の自認による生活実態やウェルビーイングの格差・不平等を記述しつつ、同時に、各カテゴリー、各自認における詳細にも目を配り、「性的指向」の分類がいかに社会的に構築されているか、その過程を批判的に考察することが不可欠

↑ クィア人口学的な知見

15

## 5 まとめと考察(2)

- 調査対象者の性的指向の自認にかかわらず用いることのできる、性的指向をとらえる設問の研究をさらに進め、データを蓄積していくことが重要
- 性的指向の自認をたずねる設問や「決めたくない・決めていない」の回答をどのように扱うかを標準化することは、調査間での結果の比較をしやすくし、今後の研究の進展にも寄与する
- 調査票調査によって、性的指向の自認をとらえる際には、性的指向の自認をたずねる設問に加え、「決めたくない・決めていない」と回答した人に、その理由をたずねる設問を含めることが望ましい
  - Miller and Ryan (2011)と同じ結論

16



## ご清聴ありがとうございました

本調査は、JSPS科研費16H03709「性的指向と性自認の人口学  
—日本における研究基盤の構築」の助成を受け、国立社会保障・人  
口問題研究所 研究倫理審査委員会の承認を得て実施したもので  
ある(承認番号IPSS-IBRA #19005)

17

## 参考文献

- Chandra, A., WD. Mosher, C. Copen and C. Sionean, 2011, *Sexual Behavior, Sexual Attraction, and Sexual Identity in the United States: Data from the 2006-2008 National Survey of Family Growth*, National Health Statistics Reports 36, Hyattsville, MD: National Center for Health Statistics.
- Dharma, Christoffer, 2016, "Evaluation of Sexual Orientation Items in Population Health Surveys Among Canadians: A Mixed Methods Approach," Electronic Thesis and Dissertation Repository 3977, (Retrieved June 12, 2020, <https://ir.lib.uwo.ca/eta/3977>).
- Federal Committee on Statistical Methodology, 2018, *Measuring Sexual Orientation and Gender Identity Research Group*, (Retrieved June 12, 2020, <https://nces.ed.gov/FCSM/SOGI.asp>).
- Miller, Kristen and J. Michael Ryan, 2011, Design Development and Testing of the NHIS Sexual Identity Question, (Retrieved May 22, 2020, <https://www.impactprogram.org/wp-content/uploads/2011/11/Miller-2011-HHS-report-on-measuring-sexual-orientation.pdf>).
- 三浦麻子・小林哲郎, 2015, 「オンライン調査のモニタのSatisficelはいかに実証的知見を毀損するか」『社会心理学的研究』31(2): 1-12.
- 三浦麻子, 2019, 「ウェブ調査における回答者の努力の最小限化—Satisfice行動がデータの質に及ぼす影響—」一般社団法人輿論科学協会 創立74周年記念行事, 2019年10月21日(公益財団法人日本文化興隆財団 代々木会議室).
- 森山至貴, 2017, 『LGBTを読み解く——クィア・スタディーズ入門』筑摩書房.
- Office for National Statistics, 2018, 2021 Census Topic Research Update: December 2018 (Retrieved May 22, 2020, <https://www.ons.gov.uk/census/censustransformationprogramme/questiondevelopment/2021censustopicresearchupdateedecember2018#sexual-orientation>).
- Pega, Frank, Alistair Gray and Jaimie Veale, 2010, *Sexual Orientation Data in Probability Surveys: Improving Data Quality and Estimating Core Population Measures from Existing New Zealand Survey Data*, Official Statistics Research Series, Vol.2010-2 ISSN 1177-5017; ISBN 978-0-478-35360-0.

18

## 参考:ふまじめな回答者検出用の問い

SC1

本調査へのご参加をご検討ください、ありがとうございます。  
 この調査は、性のあり方やそれによる生活への影響についての研究のために行われ、あなたのご回答は今後行われる調査の改善に役立てられます。そのため、この調査には、性に関するあなたのお考えやご経験をうかがう質問が含まれています。調査への参加は自由意志に基づきますので、やめたくなった場合は、いつでもやめることができ、あなたが不利益を被ることはありません(ポイント付与は調査会社の取り決めに基づきます)。研究チームにあなたの氏名や住所などの個人情報が出るようなことは決してありません。また、回答は暗号化が施されて送信されますので、ありのままのお気持ちや経験について安心してお答えください。

所要時間は10~15分です。 ボタンのクリックで調査参加に同意したとみなさせていただきます。

なお、この調査は国立社会保障・人口問題研究所 研究倫理審査委員会の承認を得て実施しています(承認番号IPSS-IBRA #19005)。

「性的指向と性自認の人口学」研究チーム

※本調査は、科学研究費助成事業(科学研究費補助金)「性的指向と性自認の人口学-日本における研究基盤の構築」(課題番号 16H03709)(研究代表者 国立社会保障・人口問題研究所 人口動向研究部 第2室長 釜野さおり)の助成を受けて実施しているものです。

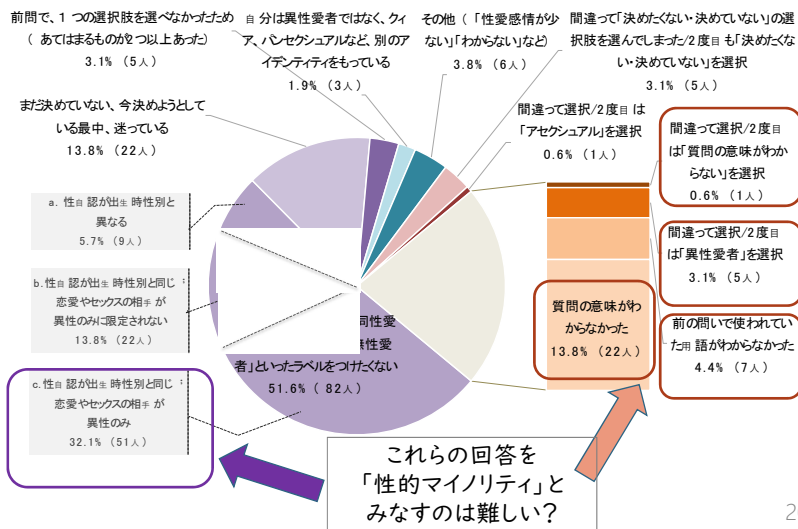
まず、あなたがどのくらいこの調査に注意を払っているかを確認します。

以下の「回答を開始する」は選択せずに ボタンをクリックしてください。

回答を開始する

19

## 参考:「決めたくない・決めていない」の選択理由の全体像



20

## 参考:ラベルをつけたくない、の選択者の分類方法 性自認のあり方と性的指向の3つの指標

[性自認が出生時性別と異なる]

- ・自認する性別が出生時の性別と同じか否かの問いで、「別の性別だととらえている」、「違和感がある」のいずれかまたは両方を選択し、かつ
- ・現在自認する性別(男/女/その他)が、出生時の性別(男/女)と異なる

[性自認が出生時性別と同じ;恋愛やセックスの相手が異性のみ限定されない]

- ・自認する性別(男/女/その他)が出生時の性別(男/女)と同じで、かつ
- ・恋愛感情を抱く相手、性的に惹かれる相手、セックスをする相手の1項目以上で、「ほとんど異性」、「男性と女性同じくらい」、「ほとんど同性」、「同性のみ」、「(該当する経験が)ない」のいずれかを選択

[性自認が出生時性別と同じ、恋愛やセックスの相手が異性のみ]

- ・自認する性別(男/女/その他)が出生時の性別(男/女)と同じで、かつ
- ・恋愛感情を抱く相手、性的に惹かれる相手、セックスをする相手の3項目とも「異性のみ」と回答